経営継続補助金を使って

みどりクラウド

コロナウィルス感染症に負けるな！農業生産者応援企画

みどりクラウドが 格安で 導入できるキャンペーン

今回、経営継続補助金を使ってみどりクラウドを導入される方に、
CO_2センサー（5mケーブル付き）を無償提供！
これにより、通常の約80%OFFでみどりクラウドが導入可能となります。

例えば・・・

- みどりボックスPRO 4G 基本セット（温湿度センサー・カメラ含む）
- 日射量センサー
- CO_2濃度センサー
- 土壌複合センサー
- 10mケーブル2本
- 5mケーブル1本
- コネクタカバー 2個

通常小売価格
275,000円～290,000円

⇩

実質生産者負担
60,000円～65,000円※

実質 78%OFF

※ 経営継続補助金利用時に自己負担となる25%から今回無償提供するCO$_2$センサーの一般的な販売価格を差し引いて算出しています。

キャンペーン条件

- みどりボックスPRO（4G版/Wi-Fi版）を含んだ構成であること
- みどりボックスPRO1台につき、CO_2センサーと5mケーブルを1セット無償提供（一定のセンサーオプションを含めた構成にする必要があります。ご希望の構成が対象となるかどうかは、お問い合わせください。）
- 12ヶ月以上、みどりクラウドを利用すること
- 経営継続補助金などの補助金を利用すること

みどりクラウドでできること

圃場環境の見える化による栽培改善
温度・湿度・日射量・CO_2濃度・土壌水分・土壌EC・地温
飽差・日照時間・有効積算温度・低温積算温度

警報によるリスク回避

他生産者とのデータ共有による技術向上

全国2,000箇所での実績

- 3,000万円の損失回避（トマト生産者）
- 20%の収量拡大（きゅうり生産者）
- 薬散回数の低減（イチゴ生産者）

経営継続補助金の申請について

経営継続補助金を利用すると、新型コロナウィルス感染症を乗り越えるための取組にかかる経費に対して3/4が補助されます。
コロナウィルス対策に対して、以下のポイントでみどりクラウドを活用することができます！

<新型コロナウィルス感染症対策 活用例>

- みどりクラウドによって遠隔から圃場の様子を確認できるようになることで、接触機会を減らした新しい生産方式に切り替える（密を避けた生産）
- 施設園芸の作業時間の30%を占める環境管理に係る時間をみどりクラウドによって短縮し、これまでも少ない労働力で生産を可能にする（人材不足に対応した生産）
- 圃場環境の見える化により、失敗を防ぎ、安定的な農業生産を実現することで持続可能な農業経営を確立する（安定的な農業生産）

本キャンペーン、および、みどりクラウドに関するお問い合わせ
株式会社セラク みどりクラウド事業部（担当 山田）
TEL: 03－6851－4831　e-mail: info@midori-cloud.net

ぜひこの機会にご活用ください！　生産方式の転換のためのIoT化

みどりクラウド

○月○日版

経営継続補助金

○目的

新型コロナウイルス感染症の影響を克服するため、感染拡大防止対策を行いつつ、販路の回復・開拓、生産・販売方法の確立・転換などの経営継続に向けた農林漁業者の取組を支援します。

○対 象 者　**農林漁業者（個人・法人）**

※常時従業員が20人以下

※支援機関（裏面）の支援を受けることが必要です。

○補助上限額

・単独申請	150万円
・グループ（共同）申請	1,500万円

＜補助の対象となる経費＞（単独申請の例）

①経営継続に関する取組に要する経費

①機械装置等費
②広報費・展示会等出展費
③旅費
④開発・取得費
⑤雑役務費
⑥借料
⑦専門家謝金・専門家旅費
⑧設備処分費
⑨委託費・外注費

補助率 3/4
補助上限額 100万円

＋

②感染拡大防止の取組に要する経費

①消毒費用
②マスク費用
③清掃費用
④飛沫対策費用
⑤換気費用
⑥その他の衛生管理費用
⑦ＰＲ費用

補助率 定額
補助上限額 50万円

・使用目的が本事業の遂行に必要なものと明確に特定できる経費
・令和2年5月14日以降に発生し、事業期間中（原則、令和2年12月末まで）に支払が完了した経費
・証拠資料等によって支払金額が確認できる経費

みどりラウドでの、
補助金ご活用のポイントは
表面へ